

**口腔の健康維持のため  
かみ合わせ治療を重視**

もちろん、外科的処置以外にも配慮を怠らない。「患者さんの立場から考えると、確実な上に、痛みや腫れのない治療を提供することが大切でしょう」と、患者の負担を減らすことにも配慮。歯科麻酔担当の伊藤寛之歯科医師と協力し、眠っているような状態にする静脈内鎮静法で痛みや恐怖心を和らげるほか、薬剤を適切に使って、骨移植を伴う大がかりな手術でも腫れが早めに収まるよう努める。

さらに、インプラントの



インプラント手術を行う金光院長。チーム医療で患者の負担が少なく、確実な処置を心がける

**要望に添って方針を決め  
確実な治療で応える**

長期的な維持も心がける。そのために重視しているのがかみ合わせ治療だ。「歯を失った人は、かみ合わせのバランスが崩れていることが多いのです。中には顎関節症を抱える人もいます。結果として過度な負担がかり、インプラントの寿命も縮みます」。治療では、あごの骨だけでなく、あごを動かす筋肉にも着目。コンピュータによる客観的な計測で筋肉本来の動きを調べ、最も負担がかからない状態になるよう、被せ物で歯の高さを調整していく。

こうした多様な技術を用いた高い水準で活用できるような研鑽を重ねているのも、

広く落ち着いた雰囲気のカウンセリングルームで金光千寿子副院長がカウンセリングを行う



すべては患者の要望に応えるためだ。

同院では治療方針を患者主導で決定する。金光千寿子副院長が専属のカウンセラーとして、歯に関する悩みや治療に対する要望などを聞き、患者の要望を正しく把握。それらを基に、歯科医師全員による検討会で予算に応じた治療計画を複数立案し、患者に説明して共に方針を決めていく。

また、計画通りに治療を進めるため、歯科用CTを最大限に活用。術前に撮影した立体画像であごの骨の厚みや血管・神経の位置を確認し、骨造成手術が必要か否かの判断も含め、正確なインプラント手術の指針とする。さらに、ミスのない確実な治療を行うため、

静脈内鎮静法を望む患者には、事前に伊藤歯科医師が問診と全身状態のチェックを行う



手術中や手術直後にも歯科用CTで埋入したインプラントの位置や角度を確認する。「術中の撮影は迅速に行う必要があるため、歯科用CTを2台設置し、すぐに撮影できる体制を整えています。こうした配慮は、インプラント治療の事故を防ぐためにも大切です」

**患者の幸福を第一に  
よりよい治療を提供**

同院には、インプラント治療に加え、矯正治療や審美的治療、歯科麻酔と、各分野においてエキスパートが揃う。全員で協力し、総合的な治療を行えるのが同院の強みといえる。全員が高い技術を身につけるべく研鑽を重ね、患者一人ひとりに誠意を持って治療を行う。こうした、治療に対する姿勢の根底には、患者によりよい治療を提供したいという強い思いがある。

「歯科治療を通じて患者さんに幸福になっていただきたいというのが、皆が熱心に治療に取り組み動機ですね」と語る金光院長を含め、同院ではスタッフ全員が、患者の喜びを最優先に考える姿勢で治療に臨んでいる。

取材／鈴木健太



受付業務は専属スタッフが行う



患者一人ひとりの治療計画を全歯科医師で話し合う医師検討会の様子



技工室はCAD/CAMなどを備え、日本でもまだめずらしい最先端のジルコニアクラウンも作製している

※インプラント治療、オールオン4・オールオン6、矯正治療は保険適用外の自由診療です。治療費はインプラント治療が1歯34万5000～80万円(ジルコニアクラウン15万～25万円など、上部構造の費用を含む)、サイゴインプラントが68万～89万円、オールオン4・オールオン6が約300万円、矯正治療が顎関節を含めた口腔全体で200万円